

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

児童の元気な声こだまする

両開小学校「秋季大運動会」

小学校や校区公民館の秋の運動会が、各地で催されました。両開小学校では、すがすがしい秋晴れの下、9月23日に秋季大運動会が行われました。児童は、4つのブロックに分かれて、綱引きや障害物競走、騎馬戦、ブロック対抗リレーなどに出場。優勝を目指す各ブロックは、出場する児童に熱い声援を送りました。全校児童で行う「ロックがたいね」「ロックソーラン節」では、練習の成果を披露。児童が体を大きく使って上手に踊る姿に、集まった保護者らは大きな拍手を送りました。



綱引きで力を込めて綱を引く両開小学校の児童

本家檀流クッキングに舌鼓

檀一雄生誕百年記念文学顕彰祭

柳川をこよなく愛した直木賞作家の檀一雄。今年は生誕百年の記念すべき年です。9月23日、新外町の川下りコース沿いに設けられた檀一雄文学顕彰碑前で、生誕百年のお祝いも兼ねた26回目の文学顕彰祭が催されました。顕彰祭では文学碑に遺影が飾られ、献花や檀一雄作詞の曲を合唱して遺徳をしのびました。式の後、参加者はドンコ舟に乗って御花に移動。世界の料理に詳しくあった檀一雄ゆかりの肉料理2品を、長男の太郎さんが特別に調理して、参加者に振る舞いました。



参加者に料理の説明をする檀太郎さん

横綱がいたことを誇りに

横綱雲龍久吉を紹介した本を図書館に寄贈

半田隆夫さん、高口日文さん、塩塚純夫さんの共著で、柳川市出身の横綱雲龍久吉（1822～1890年）を紹介した本、「第10代横綱雲龍久吉物語」を市立図書館に寄贈しました。昨年が雲龍の横綱昇進150年にあたり、それを記念して3人が7月に自費出版。雲龍にゆかりのある場所を写真や地図を使ったり、紙芝居「雲龍さん」で生い立ちを紹介したりと、読みやすい工夫が随分とあります。半田さんは「柳川は相撲の郷。横綱がいたことを誇りに思っほしいですね」と語りました。



本を寄贈した(右から)塩塚さん、半田さん、高口さん

2000人が目当ての品を探す

市リサイクルマーケット

市クリーン連合会は9月23日、市民体育館でリサイクルマーケットを催しました。自宅の不用品を必要とする人に譲り、ごみの減量化につなげようと始まったこの催しも今年で17回目。今年は市内のグループや個人など58店が出店。目当ての品を探そうと、開場の時間前からたくさんの方が行列を作っていました。会場には衣類や雑貨、おもちゃ、陶磁器など、さまざまな品物が並び、訪れた人たちは熱心に品定めをしていました。



会場にはたくさんの品物が並び来場者でにぎわった

中学生の若々しい感性輝く

市中学校合同作品展

市中学校文化連盟は、10月3日から12日にかけて、あめんぼセンター2階で合同作品展を開きました。中学生の七夕揮毫会で入選した書写作品や、授業や部活動で制作した美術作品、家庭部作品、理科自由研究作品を計738点展示。色鮮やかに描かれたイラストや静物画、イラストを小物に貼って作ったデコパージュなど、生徒たちの力作に来場者も見入っていました。10月7日には大和中学校茶道部がお点前を披露しました。



生徒たちの力作がずらり展示

俳句

ほとほりの冷めたる空に月の出る

今月の入選作品 課題「月」「真孤の花」

中原由美 (新船津町)

ゆつたりと舟に凭れて月を待つ

椋島忠常 (南浜武)

酒好きの友の集まり月見舟

廣松ヨシエ (蒲生)

水底に居る心地せり月着く

黒田和代 (吉富町)

はやり歌真孤の花は別れなり

森永孝英 (七ツ家)

サラサラと風にゆられて真孤咲く

武藤博文 (上宮永町)

ほっこりと心うるお月夜の夜は

原田アツ子 (栄)

棹し下るまこもの花の触れにけり

森永ちづる (七ツ家)

月あかり友への便り無事と書く

田中位緒枝 (豊原)

月の中うさぎが二匹おもちつき

田中眞智子 (西浜武)

古屋根の濡れて光れる月明り

龍 政人 (間)

月仰ぎ筑後の土になじみけり

江口和子 (今古賀)

あれは何満月を見て孫が言う

三池多美 (西魚屋町)

柳川の水面にすべる月明り

浦 哲之 (栄)

誘うでもなく集いたる良夜かな

古賀 幸子 (横山町)

夕月を見上げコンロで焼くさんま

重松秀秋 (吉原)

友が言う満月の夜は血がさわぐ

吉武京子 (花屋町)

月光を背に浴び孫の塾帰り

森 フチエ (立石)

【句評】菱の花句会で長年勉強されてきた久木原みよこさんが、詩情豊かに詠んだ句に『柳川は水句心町真孤咲く』があります。この句は、昭和62年発行の稲畑汀子編の新歳時記に採録されています。参考にして下さい。

◆選者の句
水門の句碑に一先づ月を待つ

鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。11月の課題は「秋籬」「紅葉」です。入選作品は11月15日号に掲載します。●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、10月31日(※必着)までにお送りください。